

## 薬学部が野田キャンパスに移転

S60年卒 衣笠 秀行

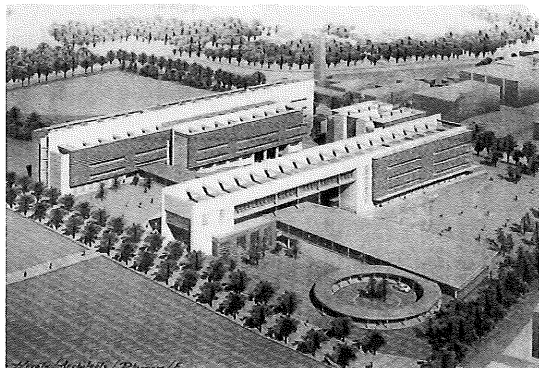
野田キャンパスでは今、20年から30年先を見据えたマスタープランに従った再構築が進められています。本年4月に薬学部が神楽坂キャンパスから野田地区に移転し、このマスタープラン完成時には、理工学部・基礎工学部・薬学部から構成される一大キャンパス（学生数1万5千人、研究者300人）が姿を現すこととなります。

これに向けて現在、約130億円をかけ、薬学部校舎、講義棟、森戸記念体育館等の建設が急ピッチで行われており、これらの建設には野田校舎の建築学科を卒業した多くのOBの方々が参加されています。

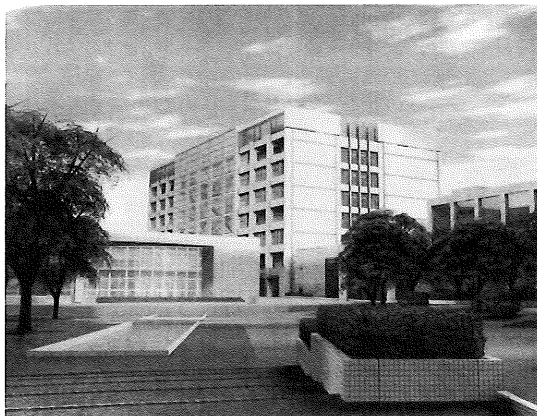
薬学部校舎（外観パース1）は生命科学研究所・自然公園に隣接して建設される4～5階建てのRC構造（一部SRC構造）で、国道16号方向にメインゲートを開く総床面積約20,000m<sup>2</sup>の緑の中に抱かれる豊かな研究環境を実現します。講義棟（外観パース2）は、記念図書館の南側に位置し、完成時には理工学部・基礎工学部の講義の全てがここで行われることとなります。エントランス中央にエスカレータがX型に交差する基礎免震を施したRC構造7階建ての講義棟は、活気あふれる学生生活の場となることでしょう。

野田キャンパスの再構築は今後も続けられ、これら以外にも、1号館を建て替え学生会館を建設する計画なども発表されています。是非一度、懐かしい野田キャンパスを見にいらしてください。大きく生まれ変わった野田キャンパスにきっと驚かれると思います。

薬学部校舎 外観パース



講義棟 外観パース



## OBと語る会

事業部会 S53年卒 五十嵐 洋也

2002年12月3日、野田校舎で恒例の「OBと語る会」が催されました。  
就職ガイダンスから数えて3回目になります。

今回のパネリストは、

- 1988年(S63) 安中健太郎さん 井上研究室  
清水建設 理科大野田校舎薬学部建設作業所の理科大OB6人いる中のお一人
- 1984年(S59) 辰野智子さん 奥田研究室  
辰野武山建築設計事務所
- 1985年(S60) 野村研究室  
国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築課 課長補佐
- 1981年(S56) 野村研究室  
日本設計 構造設計群構造設計部でした。

安中さんは、清水建設が施工した「デズニー・シー」の自主制作映画を持参していただき、上映しました。安中さんは現在、野田校舎で薬学部の新築工事に携わっています。

辰野さんはご主人の武山さん(理科大卒)と設計事務所を開設しています。今回はいくつか設計された建物のスライドを見せていただきました。今は最新の設計した建物の3階に住み、地下(半地下?)の事務所で仕事をされているそうです。

佐藤さんは先月、見学会でお世話になりました。国土交通省の建物の免震工事の見学でした。国土交通省の仕事を説明いただきました。

土田さんは総合設計事務所の仕事を駆け足でしたが説明いただきました。

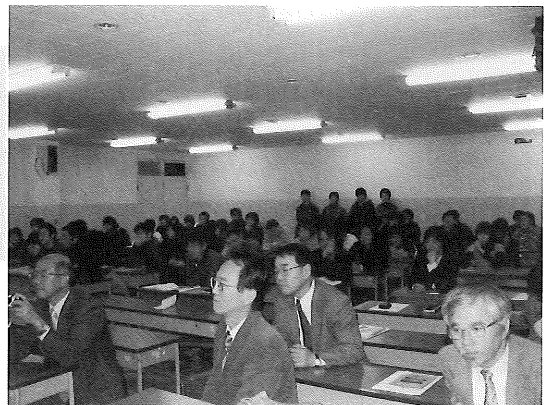
パネリストの皆さんはとても熱心で、持ち時間10分をオーバーして質疑応答時間がほとんどなくなるほどでした。少ない質疑時間の中で学生から「普段の仕事は、一日の様子」の質問があり、4人の方々がそれぞれ回答していただくなど、実際の仕事振りを披露していただきました。

今回は、421教室に学生が50人ほど参加しました。

その後、6時からの予定の慰労会は6時20分から始め、8時まで第3食堂の2階で行われました。学生・院生も20人ぐらい参加しました。教室とは違ったりラックスした雰囲気の中、各パネリストの周りに学生の輪ができ、和気藹々とした時間をすごすことができました。



左から 安中健太郎さん  
辰野智子さん  
佐藤彰芳さん  
土田伸二さん



パネリストの話聞くみなさん

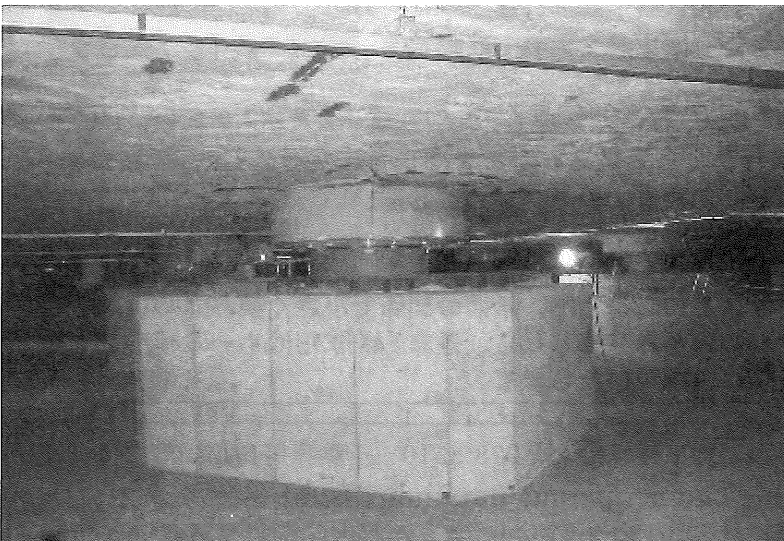
## 霞ヶ関中央合同庁舎現場見学会

H9 年卒 向井智久

先日 10 月 25 日、東京都千代田区霞が関において築 36 年を経た中央合同庁舎第 3 号館の耐震改修工事の見学会が行われました。参加したのは、学生が大学院生及び 4 年生の全 12 名と教員及び OB の方々でした。まず現場事務所にて、昭和 59 年度卒業された佐藤彰芳さんから配布された資料にて本耐震改修工事の概要説明（工事の特長は、既存建物を一度ジャッキアップし、その間にある杭の切り取り及び免震装置の設置を行うといったもので、建物も 11 階建てという大規模なもの）がビデオを用いて行われ、そのあとに実際に施工現場を見学しました。見学場所は地階の免震層で、設置された積層ゴムや粘性ダンパー及びカットされた杭や 30 年以上前に使われたコンクリートスラブ等、最新のものから古いものまで非常に貴重なものを見学できました。その後、現場事務所に集合し質疑応答が行われました。設計や施工に関する質問（免震構造の有効性や国の建物の設計・診断基準が存在すること）等が活発になされ、大変有意義な見学会は無事終了しました。



施工現場で熱心に説明  
を聞く参加者



免震層を撮影

## あるOBの転職報告

会報部会 S54年卒 周藤 正信

建設業界の経験を請われ、医療業界・病院メンテナンスへの道を歩み数年が経ちました。私がお世話になっている所は老人医療専門の病院で、介護法の導入により、特に近年、社会問題にまでなっている分野です。皆さんは、老いと介護についてどのようにお考えでしょうか？

介護の経験の無い多くの人々が初めてこの病院へ訪れた時は、だいたい皆さん苦笑します。しかしその後すぐに深く考えさせられる現実に取り込まれます。一口に介護と言いましても、痴呆、徘徊、寝たきり、車イス生活など様々なパターンがあります。障害者も含めて、米国あたりでは20年以上も前にすでにどんな小さな公共施設でも必ず車イスに対応する設備が整っていました。日本では最近やっと整備され始めました。(一説によると公共事業の主流?になるらしいです。)

建築に目を向けてみますと、最近「バリアフリー」という言葉をよく耳にします。しかし、介護と言えばバリアフリーと手すりのみに目が行きがちですが、実際、現場の人間にとっては、もっと深い問題が多々あるように思われます。

そこで設計段階に関してお願いがあります。介護を受ける人(する人)の世代と、将来及び生活様式を見定めて基本設計を進めて頂きたいと思います。将来起こりうる問題に備えて。

### ## 通信欄 ##

#### NAA賞発表!

小林 直輝君 (学籍番号99031、奥田研究室)

#### 受賞理由

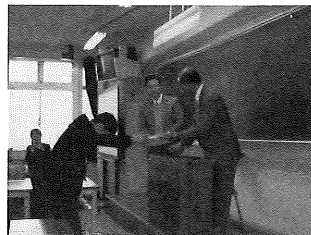
小林君は1部体育局少林寺拳法部に所属しており、以下のように非常に優秀な活動成績を残した。

パリ国際大会：優秀賞

全国大会：最優秀賞 (スポンサーの伊藤園から特別賞も受賞)

千葉県大会：最優秀賞、 柏大会：最優秀賞

関東理工系大会：最優秀賞、関東学生大会：敢闘賞等



**会費振込が下記でもできるようになりました!** (別紙「会費納入のお願い」参照)

今年度よりみずほ銀行から会費振込みができるようになりました。「会費納入のお願い」に振込先を記入してありますので、宜しく願いいたします。

**Wanted!** (別紙「不明者リスト」参照)

現在の住所不明者をリストにしました。紙面の関係で小さく読みづらいかもしれませんが、お知り合いの方がおりましたら、是非FAXまたはホームページ上からお知らせ下さるよう切にお願いいたします。



発行 東京理科大学野田建築会 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~sut-naa/index.html>

郵便振替 口座番号 00130-9-27644 東京理科大学野田建築会